



2022年8月10日

各 位

会 社 名 株式会社 自重堂  
代表者名 代表取締役社長 出原 正信  
(コード番号 3597 東証スタンダード市場)  
問合せ先 常務取締役業務本部長 富山 英朗  
(TEL 0847-51-8111)

## 2022年6月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年8月12日に公表いたしました2022年6月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### ●2022年6月期通期連結業績予想と実績値との差異

(2021年7月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,700 ～17,100	2,500 ～2,100	2,600 ～2,200	1,800 ～1,500	624.38 ～520.31
実績値(B)	16,983	2,214	3,016	2,835	983.73
増減額(B-A)	△1,717 ～△117	△286 ～114	416 ～816	1,035 ～1,335	
増減率(%)	△9.2 ～△0.7	△11.4 ～5.4	16.0 ～37.1	57.5 ～89.0	
(ご参考)前期実績 (2021年6月期)	17,882	2,158	2,245	1,544	535.82

#### 差異の理由

売上高については、「Jawin (ジャウイン)」、「Z-DRAGON (ジードラゴン)」を中心に個人向け売上は好調に推移し、6月下旬からの猛暑の影響により熱中症対策商品「空調服」も順調に売上を拡大しましたが、原材料費、並びに資源・エネルギー価格の高騰に伴うコスト上昇や円安の進行の影響により企業ユニフォームの更新需要が伸び悩んだことなどにより、前回予想を下回りました。営業利益については、原材料費や海上輸送運賃の上昇、円安の進行により仕入コストは上昇しているものの、生産態勢の見直しを進めコスト上昇を極力抑えるとともに、在庫の適正化を進め物流経費を中心に経費削減を行ったことなどにより、前回予想の範囲内となりました。経常利益については、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によりデリバティブ評価益が増加したことなどにより、前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する当期純利益については、一部有形固定資産について、今後、維持・管理負担の増加が見込まれることや災害リスクの観点から資産効率の改善を図るため売却したことに伴い固定資産売却益を特別利益に計上したことなどにより、前回予想を上回り、過去最高益を更新いたしました。

以 上